

【確認質問書：過去の技術士の試験を振り返る】

過去の技術士の試験を振り返り，不合格の原因や受験勉強方法の改善点などを見つけてください。以下の5項目に対する確認事項の質問（全70問）があります。

確認事項1：受験に対する意識を確認する。

確認事項2：受験勉強方法を確認する。

確認事項3：受験勉強の時間を確認する。

確認事項4：答案の書き方を確認する。

確認事項5：その他

以下の注意事項を読んでから回答を考えてください。

【回答に対しての注意事項】

- ①回答を書き出す前に，一度，すべての質問を読んでください。回答が重なるような質問があれば，一方で回答してください。
- ②回答はできる限り具体的に書いてください。具体的に書くことで様々なことが見えてきます。

例：「Q2：なぜ，不合格になっても再度技術士の試験を受験するのか？，すなわち，なぜ，技術士の資格を取得したいか？」

△：今後，会社を退職して独立する予定だから

○：技術士の資格を取得して会社を退職し，技術士の受験指導をする技術士事務所を立ち上げる予定だから

- ③頭の中だけで回答しないでください。つまり，頭の中だけで回答するとは，「Q22の回答は〇〇だな」と頭の中で考えるだけの回答です。回答は文や文章の形で必ず書き出してください。ノートなどに書き出しても，ワードなどのソフトを使って書き出してもどちらでもよいです。回答を文や文章にすることで，不合格の原因や受験勉強方法の改善点などがはっきりと認識できます。

■確認事項 1 : 受験に対する意識を確認する。

Q1 : これまで、技術士の試験を何度受験したか？

Q2 : なぜ、不合格になっても再度技術士の試験を受験するのか？、すなわち、なぜ、
技術士の資格を取得したいか？

Q3 : 技術士の資格を取得することで自分にプラスになることは何か？

Q4 : 技術士の資格を取得したら、仕事をするうえで、資格の取得前と何が変わるの
か？

Q5 : 技術士の資格を取得したら、今後、技術士の資格をどのように活用するか？（ど
のように資格を役立てるか？）

Q6 : 「今年は絶対に合格する！」という強い気持ちを持つことで技術士の試験に合格
できる。これまで、「今年は絶対に合格する！」という強い気持ちを持って受験
したか？

Q7 : 『「今年は絶対に合格する！」』という強い気持ちを持っていなかった』と回答し
た場合、なぜ、「今年は絶対に合格する！」という強い気持ちが持てなかったか？
また、「今年は絶対に合格する！」という強い気持ちを持つためにはどうしたら
よいか？

Q8 : これまで、筆記試験日まで毎日継続して受験勉強ができたか？

Q9 : 「継続できなかった」と回答した場合、なぜ、継続できなかったか？ また、継
続して勉強するためにはどうしたらよいか？

■確認事項 2 : 受験勉強方法を確認する。

◆勉強のスケジュール（計画）など

Q10 : 今年の受験に向けて、すでに勉強を始めているか？

Q11 : 「まだ始めている」と回答した場合、いつから始めるか？

Q12 : これまで、勉強のスケジュール（計画）を立てたか？

Q13：「スケジュールを立てた」と回答した場合、スケジュール通り勉強できたか？

Q14：「できなかった」と回答した場合、スケジュールを修正しながら勉強したか？

Q15：「これまで、スケジュールを立てた」と回答した場合、今年もスケジュールを立てるか？、あるいは、すでに立てたか？、立てる場合（立てた場合）、過去の経験を踏まえ、どこをポイントとしてスケジュールを立てるか（立てたか）？

◆受験勉強の方針など

Q16：これまで、どのような方法で受験勉強したか？

*以下の4つの中から選択する（複数選択可）。

- ①有料の受験指導を受ける
- ②社内の受験指導を受ける
- ③独自の方法で勉強する
- ④その他

*「その他」を選択した場合には、その具体的な方法を書く。

Q17：過去の結果を踏まえ、今年強化すべき試験科目はどれか？

*以下の4つの中から選択する（複数選択可）。

- ①択一式問題
- ②記述式問題（専門知識）
- ③記述式問題（応用能力）
- ④記述式問題（課題解決能力）

Q18：今年もこれまでと同じ方法で受験勉強するか？あるいは、変更するか？

Q19：「同じ方法で受験勉強する」と回答した場合、なぜ、そのように判断したか？

Q20：「変更する」と回答した場合、どのように変更するか？

Q21：これまで、予想問題に絞って勉強したか？あるいは、予想問題も含め選択科目のすべての分野（内容）を勉強したか？

Q22：「予想問題に絞った勉強していた」と回答した場合、これまで、予想問題をど

のような方法で予想したか？

Q23：今年、「予想問題に集中」あるいは「選択科目全体」のどちらの方針で勉強するか？ また、なぜ、そのように判断したか？

◆受験勉強の質など

Q24：これまで、メリハリを付けた受験勉強（中身の濃い勉強）、例えば、不得意な分野（内容）を優先して勉強し得意な分野（内容）はその後に勉強するなど、をしたか？

Q25：「メリハリを付けた受験勉強（中身の濃い勉強）ができなかった」と回答した場合、どのような方法で勉強すれば「メリハリを付けた受験勉強（中身の濃い勉強）」ができるか？

Q26：参考図書を読んでわからない内容があったとき、「そういうものか」と考え、わからない内容をそのままにするか、あるいは、「なぜだろう？」と考え疑問を解決し掘り下げて理解するようにしているか？

Q27：受験勉強だけに係わらず、仕事の中でも「なぜだろう？」と考え、自分の技術やその周辺技術を掘り下げて理解するようにしているか？

Q28：参考図書で学んだことをどのように整理しているか？

*以下の4つの中から選択する。

- ①ノートなどに手書きで要点やポイントを整理する
- ②ワードなどのソフトを使って要点やポイントを整理する
- ③読むだけで要点やポイントを整理しない
- ④その他

*「その他」を選択した場合には、その具体的な方法を書く。

Q29：今年もQ28で選択した方法で整理するか？

Q30：「整理しない」と回答した場合、今年はどういう方法で整理するか？

Q31：これまで、過去問を調べたことがあるか？

Q32 : 「調べたことがある」と回答した場合、調べた結果が受験勉強に役立ったか？

Q33 : 「役立った」場合、具体的にどのようなこと（内容）が役立ったか？

Q34 : 「調べたことがない」と回答した場合、なぜ、調べなかったか？

Q35 : 勉強したことをどのような方法で記憶しているか？

Q36 : Q35 で回答した方法でしっかり記憶できるか？

Q37 : 「しっかり記憶できない」と回答した場合、しっかり記憶するためにはどうしたらよいか？

◆ 択一式問題に関する受験勉強方法

Q38 : これまで、択一式問題に対してどのような参考図書を使い、どのような方法で勉強したか？

注) : 参考図書とは、専門書、専門分野の雑誌、市販されている受験対策本、ネットから入手した資料、業界で発刊している新聞等、受験勉強で使う教材の総称のことである。

①参考図書名 :

②勉強方法 :

Q39 : 今年も同じ方法で勉強するか？ あるいは、勉強方法を修正するか？

Q40 : 「同じ方法で勉強する」と回答した場合、なぜ、そのように判断したか？

Q41 : 「修正する」と回答した場合、どのように修正するか？

◆ 「記述式問題・専門知識」に関する受験勉強方法

Q42 : これまで、「記述式問題・専門知識」に対してどのような参考図書を使い、どのような方法で勉強したか？

①参考図書名 :

②勉強方法 :

Q43 : 今年も同じ方法で勉強するか？ あるいは、勉強方法を修正するか？

Q44 : 「同じ方法で勉強する」と回答した場合、なぜ、そのように判断したか？

Q45：「修正する」と回答した場合、どのように修正するか？

◆「記述式問題・応用能力」に関する受験勉強方法

Q46：これまで、「記述式問題・応用能力」に対してどのような参考図書を使い、どのような方法で勉強したか？

①参考図書名：

②勉強方法：

Q47：今年も同じ方法で勉強するか？あるいは、勉強方法を修正するか？

Q48：「同じ方法で勉強する」と回答した場合、なぜ、そのように判断したか？

Q49：「修正する」と回答した場合、どのように修正するか？

◆「記述式問題・課題解決能力」に関する受験勉強方法

Q50：これまで、「記述式問題・課題解決能力」に対してどのような参考図書を使い、どのような方法で勉強したか？

①参考図書名：

②勉強方法：

Q51：今年も同じ方法で勉強するか？あるいは、勉強方法を修正するか？

Q52：「同じ方法で勉強する」と回答した場合、なぜ、そのように判断したか？

Q53：「修正する」と回答した場合、どのようなことを修正するか？

Q54：「課題解決能力」の問題に対しては、その出題の趣旨から、専門分野の知識だけでなく社会で起こっている出来事（社会的な変化：例えば、自然災害や少子高齢化の問題など）についても関心を持ち、その内容を知っておくことが必要である。これまで、「社会的な出来事に関心を持とう」という意識を持って勉強したか？

Q55：「意識を持って勉強した」と回答した場合、どのようなもの（情報源）から社会で起こっている出来事に関する知識（情報）を得たか？

* 情報源を書く。また、今年の受験に対して、新たに加えようと考えている

情報源があればそれを書く。

■ 確認事項 3 : 受験勉強の時間を確認する。

Q56 : これまで、受験勉強の時間は十分に確保できたか？

Q57 : 「十分に確保できなかった」と回答した場合、今年はどうのようにして十分な受験勉強の時間を確保するか？

Q58 : 例えば、「仕事は仕事、受験勉強は受験勉強」ではなく、「仕事をしているときも受験勉強」という考え方を持つことで、日々の時間を有効に使うことができる。どのようにすれば日々の時間を有効に使うことができるか？

■ 確認事項 4 : 答案の書き方を確認する。

Q59 : 解答を書き終わったあとで、「自分で考えていることが的確に書き出せた」、すなわち、「頭の中にある解答を明確に形にすること（文や文章にすること）」ができたと思うか？

Q60 : 「思わない」と回答した場合、的確に書き出せるようにするためにはどうしたらよいか？

Q61 : これまで、問題を読み解答を考えていると、「あれも書こう」、「これも書こう」、「あれも書かなきゃ」、「これも書かなきゃ」と頭の中が混乱することはなかったか？

Q62 : 「ある」と回答した場合、頭の中を整理してから解答を書いたか、あるいは、混乱したまま解答を書いたか？

Q63 : 「整理してから解答を書く」と回答した場合、頭の中をどのように整理してから答案用紙に解答を書いたか？

例 : 問題用紙の空きスペースに解答の骨子などを書き出す

Q64 : 「混乱したまま解答を書く」と回答した場合、頭の中が混乱した状態で、頭の

中にある解答を的確に書き出すことができたか？

Q65：これまで、わかりやすい文、例えば主語・述語の対応が正確な文、簡潔な文など、を書こうという意識を持っていたか？

Q66：これまで、記述式問題に対して、時間内に所定の枚数を書き上げることができたか？ 時間の不足はなかったか？

Q67：「時間の不足があった」と回答した場合、時間内に回答を書き上げるためにはどうしたらよいか？

■ 確認事項 5：その他

Q68：自分の周囲に技術士の試験に関して相談できる人はいるか？

Q69：「いる」と回答した場合、具体的に誰か？

Q70：「いない」と回答した場合、相談したい場合にはどうしているか？

確認の質問は以上です。ご苦労さまでした。

70の質問に回答することで、受験に関してこれまで気が付かなかったことが見えてきたと思います。見えてきたことや合格に向けての改善点を書き出してください。

この確認質問書を活用して、今年は必ず合格してください。

【注意事項】

本確認質問書の著作権は、(有)ジェイタプロにあります。本確認質問書の内容の無断転載や本確認質問書の全部または一部を無断で複写・複製することを禁じます。